



北海道士歌人會詠草

レンゲウ

札幌 浜島 泉

レンゲウが咲き出づる家の玄関に訪問看護の車停まりつ
ノイバラが咲く庭に立つべき人をケアワーカーが今日も訪なふ
ズミの花愛で詠みし人このごろは庭に姿を見ることがもなし
休日に里山に行きウッド取りて味噌に漬け込み娘へ送る
三年経てツクバネサウが芽吹きけり育ちの丘に似せ育まん

国訛り

釧路 兎玉 昌彦

故郷への直行便の飛行機は待合室から国訛り満つ
おぞましく気恥ずかしきは国訛り消せぬ消したい思い出にも似て
小学校の同窓会に並ぶ顔別れたあとであの子だったか
小学校で背の高い子も低い子も齡とり合えばみーんな同じ
海外での活躍記した年賀状それが最後の急逝の友

水芭蕉

旭川 稲積 文子

年経ても変らぬ姿で迎えるは水芭蕉の白き大群団
清らかな水の流れに根を張ってたくましく生きる水芭蕉の花
五十二年間身も心も削りたり未練慰めの言葉も出でず
そよそよと風にゆられて新緑の微動だにせぬ幹はたくまし
まんまるく黄色い月との対面を運転し乍ら夫も気がつく

原爆忌に寄せて

江別 三宅 浩次

Eイコールmc2乗の発見でアインシュタインが世界を変えた
科学的発見により武器までが進歩するとう悔しさよ
恐怖なりただ一発の爆弾で無様な命二十万余
戦争の終結理由に原爆が有効という説領けず
原爆の投下の決断した者は人類史上に悪名残す

独白

札幌 古屋 統

糟糖の妻を失う九十歳六十八の若妻娶る
高齡の男子若妻娶る聞く財の裏付け脳裡を過ぎる
贅沢と叱りを受けむ有料の施設に入るゼニを持たねば
在宅に終る願えば往診料看護婦介護士ゼニ嵩むなり
介護福祉士養成機関に教えたり頼れる学生少なりしか

重き雪

美唄 吉村 誠治

自慢なる庭の石南花幹折るる雪の重みに耐えられずして
驚きぬ三十年余の赤エゾ松今年はじめて枝折れたり
案じ来し「櫟」は雪に耐へしか根開き見せて緑目に滲む
千歳にてJALの飛行機発煙す緊急避難これも雪害
回診を玄関に待つ看護師長卒寿の我の手を取りくるる